

取組概要

直川小学校では、「自ら『ひと・もの・こと・情報』とつながり、主体的に考え行動する子どもの育成」を目指し、課題解決能力・情報活用能力・表現力を主体的な学習者に必要な資質・能力として定め、将来の「自立した学習者」に向けた教育活動を推進している。

工夫・ポイント

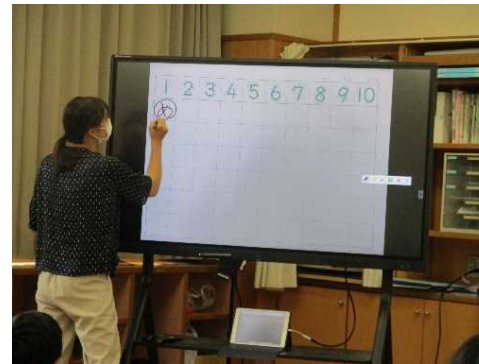
【学校マネジメントの工夫】

- ◆毎週水曜日に日課表会議を行い、週予定の確認・教育課程の進捗状況の確認をしている。協働意識・同僚性の高さを基盤に、授業づくりや分掌に係る取組の推進等について相談しやすい体制をつくっている。
- ◆検証・改善の質の向上に向けて、客観的なデータに基づき児童の実態把握と要因分析を行うことができるような体制やプロセスを確立している。

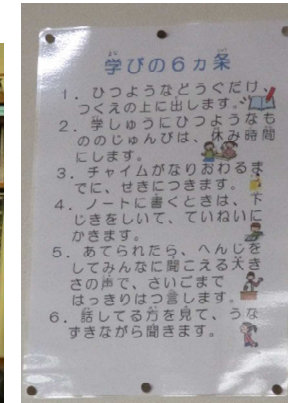
働き方改革の工夫

- ◆研修・会議資料をドライブにアップしてペーパーレス化を図り、印刷・配布等に係る時間を削減している。

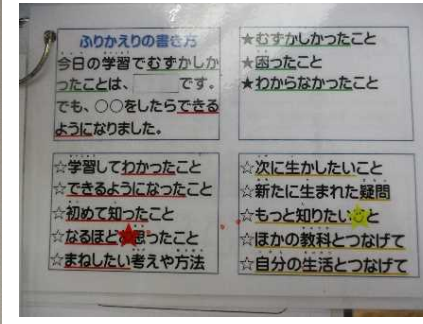
授業づくりの工夫



1年生のノート指導の工夫



どの教室にも「学びの6か条」



大切にしている「振り返り」の視点

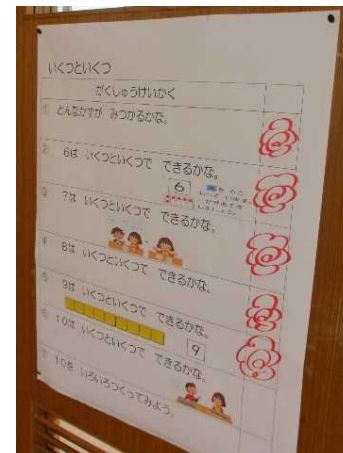
単元構想に基づく授業づくりを推進

各教科の単元計画を掲示

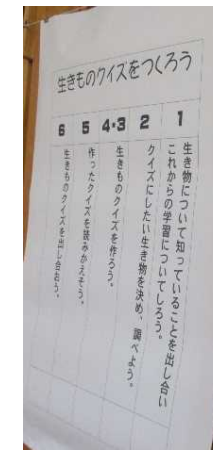
端末活用・ICT活用の日常化



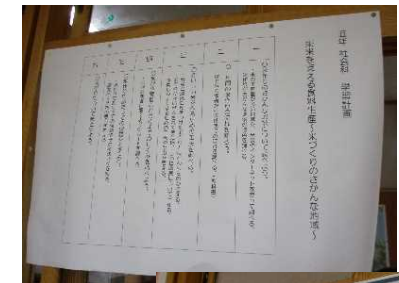
端末活用の環境
(天板で置き場を確保)



算数の単元計画



国語の単元計画



社会の
単元計画

